No. 197

長文読解 ULTIMATE CHEAT SHEET

長文の復習法チートシート(解きっぱなしにしない)

長文の力は、解いた後の復習で伸びる。答え合わせ→根拠→構造→語彙→音読の順で、1題を「自力で読める英文」に変える手順とノート・タイミング。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 丸つけで終えず、正解の根拠を本文に線で示す
2. 分からなかった文だけ構造を書き出す。全訳は写さない
3. 復習は翌日と1週間後に。読み返すより思い出す

◆ 復習の5ステップ(1題40〜60分) 5

時間は目安。解いた当日に、この順番で行う。

① **答え合わせと根拠の線**
○×をつけたら、全問の正解の根拠を本文から探して線を引き、設問番号を書く。根拠を言えない○は×と同じ扱い。

② **間違いの原因を分類**
下の5分類のどれかを決める。原因が分かれば、次にやる練習が決まる。

③ **分からなかった文の構造分析**
読めなかった文だけ書き写し、動詞に印、修飾語をカッコでくくる。解説の訳と照らして、ずれた所を確認。

④ **語彙は10個まで**
根拠の文にあった語と、本文でくり返された語を優先。単語だけでなく、出てきた句ごと記録する。

⑤ **意味が分かった本文を音読**
モデル音声をまねて音読する(→音読のやり方)。読めなかった文ほど回数を多く。

◆ 間違いの原因5分類と処方

「ケアレスミス」で片づけない。まずどれに近いかを決め、当てはまらなければ具体的にメモ。

原因	見分け方	処方
語彙	根拠の文に知らない語があった	語を出てきた句ごと覚える
構造	単語は分かるのに文意を取り違えた	構文を書き出す(→分からない文の対処法)
論理	逆接・対比・因果を読み落とした	つなぎの語に印をつけて再読
選択肢	本文は読めていたのにダミーを選んだ	ひっかけの型の名前をつける(言い過ぎなど)
時間	最後まで読めず勘で答えた	WPMを測り、解く順番を見直す

正解した問題こそ復習

勘で当たった問題は、次も当たる保証がない。逆に、根拠を本文で示せた問題は、似た問題でも取りやすい。だから答え合わせの単位は「○か×か」ではなく、**根拠を言えたかどうか**。言えなかった○は×の列に入れる。

◆ 復習ノートの作り方 5

ノートは「次に同じミスをしないための記録」。きれいにまとめる必要はない。

☐ **1 全訳は写さない**
全訳を写す時間で、構造分析と音読ができる。訳は解説を読めば分かる。書くのは読めなかった文だけ。

☐ **2 1問1行の誤答ログ**
日付・問題名・設問・原因(5分類)・一言の教訓を1行で。同じ原因が続けば、そこが弱点。

> 10/25 模試第4問 問3 論理:however の後を読まずに選んだ
> → 誤答ログの1行の例

☐ **3 難文は構造を図にする**
動詞に下線、修飾語に( )[ ]、省略された語を補う。1か月後に見ても読めるように。

> The data (from the survey) suggest [that teens (who sleep less) feel more stressed].
> 調査のデータは、睡眠時間の短い10代はより強いストレスを感じていることを示唆している。

☐ **4 語は句で記録する**
impact だけでなく have an impact on のように、出てきた形のまま書く。英作文でもそのまま使える。

☐ **5 教訓は自分の言葉で**
「注意する」ではなく「not only の後の but also まで読む」のように、次にやる行動で書く。

◆ 復習のタイミング

日を空けて思い出すほど定着する(分散学習)。間隔は目安。

いつ	やること	時間
当日	5ステップ	40〜60分
翌日	音読+読めなかった文を、見ずに構造を説明	10〜15分
1週間後	黙読で再読し、WPMを測って設問をもう一度	10分
1か月後	誤答ログと構造図だけ見直す	5分

なぜこの復習法?

学習法の研究を総まとめしたレビュー(Dunlosky et al. 2013)は、**自分でテストする練習と、日を分けた学習**を効果の高い方法とし、読み返しや線を引くだけの学習は効果が低いと評価した。思い出す練習が記憶を強めること(Roediger & Karpicke 2006)、間隔を空けた学習が一度にまとめる学習より定着すること(Cepeda et al. 2006)も確かめられている。

◆ 設問タイプ別・復習で確かめること

答えを覚えても次は出ない。確かめるのは「解き方」。

設問	確かめること
内容一致	正解の選択肢と本文の該当箇所を並べ、どう言い換えたかを書く
空所補充	空所の前後がどんな論理関係(逆接・因果・例示)だったか
指示語	指す内容を指示語の位置に入れて、意味が通るか
下線部の意味	下線部を自分の言葉で言い換えられるか
和訳	主語・動詞・修飾関係を取り違えた所はどこか
主旨・タイトル	各段落の要点を一言で言え、つなげると主張になるか

◆ 言い換えペア帳をつくる

内容一致の正解は本文の言い換え。本文⇔正解のペアを集めると目が慣れる。

型	本文	正解の選択肢
二重否定	The results were not uncommon.	The results were fairly common.
動詞→名詞	She decided to quit her job.	She made the decision to leave her job.
具体→抽象	Cats, dogs and rabbits were tested.	Several kinds of animals were tested.
反意語	The test was not difficult.	The test was fairly easy.
能動→受け身	Researchers found that sleep improves memory.	Sleep was found to improve memory.

◆ その復習、やった気になっているだけ 5

☐ ✕ ~~丸つけして点数を記録したら終わり~~
○ **全問の根拠を本文で確認する**
勘の○が残ると、本番で同じ型を落とす

☐ ✕ ~~解説の全訳を読んで「分かった」とする~~
○ **翌日、見ずに構造を説明できるか試す**
読んで分かる≠自分で読める

☐ ✕ ~~知らない単語を全部書き出して覚える~~
○ **根拠の文の語とくり返された語を10個まで**
量が多いと続かず、大事な語が埋もれる

☐ ✕ ~~毎回新しい長文だけを解く~~
○ **解いた長文を再読・音読する**
同じ英文のくり返しで読む速さが上がる

☐ ✕ ~~本文に蛍光ペンを引いて満足する~~
○ **線は根拠と主張だけ。後で思い出す練習をする**
線を引くだけの学習は効果が低い

◆ 確認テスト

1 勘で選んで正解した問題の扱いは？
a 解説だけ読む　b ×として復習する　c ○なので飛ばす
d 次の問題へ進む

2 本文は読めていたのに、言い過ぎの選択肢を選んだ。原因の分類は？
a 構造　b 選択肢　c 時間　d 語彙

3 研究で効果が低いとされた学習法は？
a 読み返すだけ　b 日を分けて学ぶ　c 自分でテストする
d 思い出して説明する

4 1週間後の復習で、最も適したものは？
a 新しい単語帳を始める　b 黙読で再読し設問を解き直す
c 何もしない　d 全訳をノートに写す

◆ 解答

1 ×として復習する 根拠を言えない○は×
2 選択肢 ひっかけの型の名前をつける
3 読み返すだけ Dunlosky et al. 2013
4 黙読で再読し設問を解き直す 思い出す練習＋速さの確認

参考資料 Dunlosky, J. et al. (2013). Improving students' learning with effective learning techniques. Psychological Science in the Public Interest, 14(1)／Roediger, H. L. & Karpicke, J. D. (2006). Test-enhanced learning: Taking memory tests improves long-term retention. Psychological Science, 17(3)／Cepeda, N. J. et al. (2006). Distributed practice in verbal recall tasks: A review and quantitative synthesis. Psychological Bulletin, 132(3)

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全439本・無料）